



平成18年11月20日

原子力安全対策室

担当者 小宮

内線 1882 直通 0952-25-7081

E-mail:

komiya-yuuichirou@pref.saga.lg.jp

玄海原子力発電所4号機加圧器逃がし弁の漏えいについて今後の作業に当たっては対策に万全を期すことを要請しました

本年11月12日、県は九州電力から、本年8月26日から定期検査を実施していた玄海原子力発電所4号機は、11月5日に発電を再開し調整運転を行っていたところ、11月11日に加圧器逃がし弁の漏えいが生じていると考えられるため、原子炉を停止して点検・調査を行うとの連絡を受けました。
(11月12日プレスリリース済、環境への影響なし)

この件について点検・調査を実施していた九州電力から、本日、以下のとおり、原因と対策について連絡を受けました。

県ではこの連絡を受け、九州電力に対し、今後の作業に当たっては、異物管理の徹底など対策に万全を期すことを要請しました。

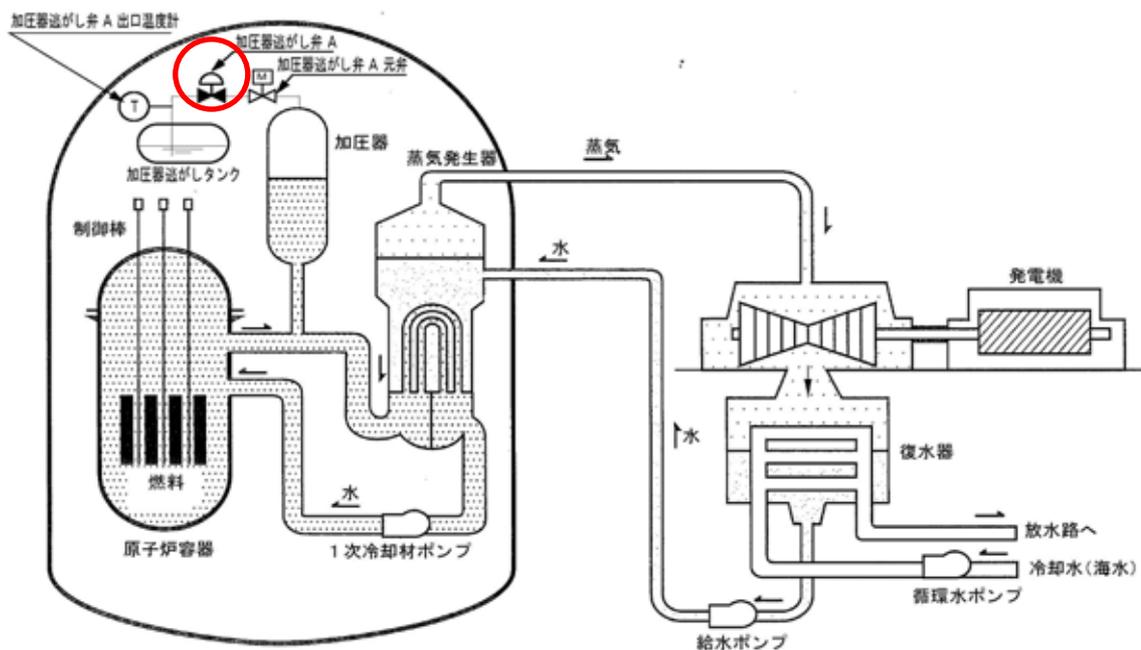
〔九州電力からの連絡内容〕

原因は、今回の定期検査中に実施した当該弁の分解点検後の組立時に、微少な異物が弁に付着したために、その後の調整運転に伴う圧力などにより、弁の密閉機能が徐々に低下し、漏えいに至ったものと推定される。

対策として、弁点検時の作業要領を見直すなど、異物管理について更なる徹底を図る。また、当該弁の部品を新品に取り替えることとする。

今後、準備が整い次第、発電を再開し、調整運転を行う。

玄海原子力発電所4号機 概略系統図



【参考】

「加圧器逃がし弁」

原子炉冷却水が循環している1次冷却系統が、何らかの理由により圧力が上昇した場合に、弁が開いて蒸気を「加圧器逃がしタンク」に逃し、1次冷却系統の圧力を下げるための装置であり、玄海4号機には2つ設置されている。